

みんなのギャラリー



ドングリのクッキー

宮教大の学生のみなさん

今年もよろしくお願ひします

お正月休み、近くの神社に家族で初詣に行きました。出店の並ぶかたわらにU字溝がおりてあり、もうすぐ2歳になる娘はそれを見つるとかけ寄って体を曲げて中を覗き込んでいます。何かいたのかなあと思いながら娘の後を追う途中で気づきました。去年、蔵王の牧場に行ったときに、ウサギのいる広場にU字溝がおかれ、その中にウサギが隠れていたのです。娘はそのときのことを覚えていてウサギがいるんじゃないかなと思ったのでしょうか。

当然ながらウサギはいませんでした。親子で手を頭にのせてウサギのマネをしてピョンピョンとはねながら参道を進みました。そして、神様には家内安全・無病息災のほかに、青葉の森でウサギに会えますようにとお願ひしました。



青葉の森 瓦版

わんぱく広場の遊具撤去

1～2月、わんぱく広場の遊具が撤去されます。工事期間中はこもれび広場の駐車場が利用できません。また作業中は危険ですので、こもれび広場から花木広場へ抜けるには、チゴユリの道をご利用くださいますようお願いいたします。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

冬だけのお客さま

10月のジョウビタキをはじめに、ヒガラ、キクイタダキなど冬鳥と呼ばれる野鳥たちがやってきました。100羽程のアトリの群れにあったという話も聞きました。うらやましい。

クマの出没情報

11月20日青葉の森の近くの民家にクマが出没の情報がありました。青葉の森では、夏以降目撃情報はありませんが、クマの爪あとや倒木を引っかいた痕跡は見つかっています。

ドングリが不作で食べ物がないとニュースがありました。青葉の森もドングリは不作でした。でも、クリ、クルミなど他の実はなりました。虫もいます。クマは残念がっているかもしれませんが、ドングリがないだけで深刻な食糧不足にはならないのではないかなと思います。クマが人間社会に適応してきたのか、クマが増えていくという話もあります。お互い怪我なく上手に付き合えるといいですね。

謎の滝を調べたよ

48号線作並街道の松ぶちガーデンテラス辺りから青葉の森を見るときに見える滝があります。この滝、上部に川が見当たりません。いったいどうなっているのでしょうか。確認してみました。



上の写真が滝のはじまりです。人工的な丸い穴が開いています。おそらく三居沢発電所へ流れる水のトンネルを掘ったときの穴ではないかと思います。水が多く危ないのではありません。中には入れませんでした。

森の花園の散策路通行止めです

クリスマス前の嵐で、森の花園の散策路の一部が崩落しました。このため、案内版を設置し、散策路を通行止めにしていきます。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。



お花見情報をまとめました

管理センター入口の窓に貼っていたお花見情報1年分を表にまとめました。ホールに貼ってありますので参考にしてください。また、次のURLからデータをダウンロードできます。

http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/blog/2010/12/post_8508.html



2010/11/13イベント
「親子でワクワク」より

みんなでつくる森のおはなし



森の奥のほら穴に、“イガー”という名前
の大男がいました



宇宙人が来て道がせまくなり、おしりがご
つつんこするので、イガーは信号をつくり
ました。



イガーは、バナナが大好きです。



イガーは船に乗ってでかけ、ハンバーガーを食
べてきたら、眠くなってねてしまいました
zzz・・・



バナナを食べているイガーのところに、宇宙人がやってきました



次の日、目が覚めると、お友だちが遊び
にきました。



宇宙人は大きくバンザイをしました



さらに、もうひとりお友だちがきて、みんなで焼肉
をしました。おしまい！

イベント「親子でワクワク 森と遊ぼう」に参加してくれたみんなが、リレー方式で順番にお話をつないでくれて、落ち葉の楽しい絵本が完成しました。みんなもやってみてね～！

青葉の森 イベントレポート



森を体感「紅葉の森をあるこう！」

2010/11/14

紅葉が遅かった 2010 年でしたが、イベント当日はちょうど見頃となりガイドの言葉が要らないと思ってしまうほどでした。そこで、たっぷり紅葉を感じてもらえるように、木の下に入って見上げてみたりしながら、眺めの良い尾根筋を選んで歩きました。また、紅葉の色の違いと、それぞれの葉の印象が強くなるように落ち葉を集めて並べてグラデーションを作りました。

タカノツメやシラキは透けるような色とその儚さ。ウリハダカエデはくっきり黄色や赤。ハウチワカエ

デは赤・黄の 2 色や、さらに緑も入った 3 色ミックス。それぞれ個性的でキレイな紅葉にうっとりしながら、みんなで散策を楽しみました。



親子でワクワク「森とあそぼう！」

2010/12/11



この日は、青葉の森のモミの木にみんなで飾りつけをしてクリスマスツリーを作りました。

赤いモミジの葉っぱや松ぼっくりを拾ってのせたり、ちょっと工夫して葉っぱでわっかを作ったり、ホオノキの葉で作ったお面をつけたり、あと、ささ舟ものっていたような・・みんなの自由な発想で楽しいツリーが完成しました。



もうすぐクリスマス

ファイバーアートでとっておきのキャンドルホルダ

2010/12/12

心あたまるクリスマスを過ごしてもらいたいと思っから、今年もオリジナルのキャンドルホルダ作りのイベントを開催しました。

はじめ、青葉の森を歩いて、松ぼっくりや木の实、枯れ枝、枯れた花柄などかわいいものを集めました。

それらに葉脈標本を加えて、世界に一つだけの作品を作っていきます。

参加者のみなさん、頭をフル回転して想像力を巡らせ(空間をイメージするのはすごく難しいと思います) とっても素敵な作品ができました。

— みぎさんの作品 —



今年も青葉の森を
よろしくお願い申し上げます。

半澤



佐藤



みなさまのお越しを心より
お待ちしております。

石川



立花

井上



森をはなれてお勉強

蔵王で高山植物復元作業



蔵王の尾根に広がる芝草平という高層湿原の植生復元活動に参加してきました。今年で3年目です。芝草平は、6月の雪どけからヒナザクラ・チングルマ・ワタスゲ・キンコウカといった高山植物のお花畑となる県内有数の高山植物の宝庫です(写真1)。そんな、芝草平へは、蔵王エコーラインの一番上から南蔵王縦走路を進みます。



6月、チングルマのお花畑

きたいくつものふみ跡が水の通り道となり、湿原の中にとどまるはずの水が、どんどん流れ出てしまい、侵食と乾燥による裸地化が進行しています。

無くなってしまった植物を復元するには、単純にはタネをまけばよいと考えられますが、タネをまく所となるはずの土が流されてしまっています。なので、ダムをいっぱい作って土を止めて、水の流れを分散します(写真2)。これによって、タネをまくことができる(植物が生育できる)ところに戻し

乾燥も防ごうというわけです。土が残っているところ平坦なところにはわらやネットを敷いてタネをまいています。条件が良いと1年でも植物が育ち、裸だったところが見違えます(写真3)。小さくとも成果が見えるとうれしく、これから参加し続けたいと思います。



枯れ枝など現地に落ちているものでダムづくり

水の流れの管理は、青葉の森の散策路の管理にも大事な要素です。散策路から上手に水を逃がすことで、自然にも散策者にもうれしい公園にできればと思います。



裸地に枯れ草を紐でおさえて種をまいたところにコウガイゼキショウ(イグサ科)などの植物が生えた

森のひとこま

水の中にいるものと思ったら 森の中にいるなんて！！

11月の穏やかな午後、いつもどおり園内を見回っていました。ふと道の脇に黒いものが目に入りました。この時期、虫を見ることもないし、なんだろうとかがんでみるとサンショウウオみたいです。

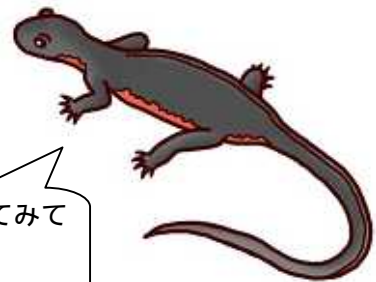


水辺ではなく、森の中でサンショウウオを見つけるのは難しいと前に何かで読んだことがあります。もしかしたら、これはラッキーかしら？ スゴイと思われるかもしれないと自慢げに太白山自然観察の森のレンジャーに写メールを送りました。

うらやましがられるかしらなどと期待して待っていると、早速にお返事が来ました。それには一言「イモリだよ」・・・(汗)。そういえば、乾いてざらざらした感じの皮膚です。サンショウウオならばつるつるとしてそうです。

予想と違ったことに加え、自慢するつもりがレンジャーに教わってしまったことの恥ずかしさですっかりがっかりした気分になりました。でも、よく考えてみたら私が青葉の森でイモリを見たのははじめてです(プラス思考)

イモリは池などの水の中にいるものと思っていましたが、繁殖期以外は水辺に近い森にいることもあります。冬は、落ち葉や石の下で冬眠するそうです。寒い冬にもまた会えるとうれしいだろうなあ。(立花)



僕を見つけてみてイモ!



冬のやってみよう！！

「ヒイラギの葉っぱの風車」



遊び方



ヒイラギの葉っぱを一枚用意します。公園や生垣などでよく見かけるヒイラギナンテン、ヒイラギモクセイなどの葉っぱが使えます。写真の葉っぱは、森の花園の散策路沿いに1本だけ生えていたヒイラギの仲間です。



真ん中あたりの一番大きなとげを親指と人差し指でかるくはさんで、ふーっと息を吹きかけるとくるくる回る風車になります。

くるくるーっと
勢いよく回るよ



ふーふー
ふーふー

あんまり頑張ると息が苦しくなるので気をつけよう。うまくまわらないときや、手にひっかかるときは、他の葉を試してみてね。



青葉の森管理センター

これからのイベントのお知らせ



親子でワクワク「森とあそぼう！！」

毎月第2土曜日 (2/12、3/12、4/9)
午前10時～11時30分 場所：青葉の森 管理センター
対象 / 小学生以下の子供と保護者
親子で一緒に自然に親しみます。



もうすぐお彼岸「削り花をつくろう！」

2月27日(日)
午前10時～14時30分
伝統の削り花を作って先人の文化を学びます



森を体感「セリバオウレンのお花畑に出かけよう！」

3月26日(土)
午前10時～12時
早春の青葉の森を彩るセリバオウレンのお花畑をご一緒にしましょう。

各イベントの申し込みは、
毎月6日 午前9時から 電話 022-263-2101 で受付いたします。
“市政だより” またはインターネットでも詳しい情報をご確認いただけます。
社のひろば：<http://www.sendai-park.or.jp/>



団体利用のご案内

青葉の森で里山歩きを楽しみませんか

お友達同士で、サークルや地域のイベントで、四季折々の自然を感じながら青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします。少人数（3～5名）からお引き受けいたします（最大40名まで）。

予め相談の上、人数や参加される方々の年齢および趣向等に応じた散策コースやガイドプランを提案させていただきます。また、学校の環境教育、野外活動に関する授業のお手伝いもいたします。青葉の森管理センター（電話：022-263-2101）までお気軽にお問い合わせください。



?これって・・・なんだべ?

—森で見つけたヘン!?なもの—



12月、強風の影響がないか見回りをしていると、散策路に何かの種のような、木の皮のようなものがいっぱい落ちていました。ハエの顔のような形にも見えるし、グライダーのようにも見えます。これはなんでしょう?



いくつか拾っていると、その正体がつかめてきました。リスがかじりつけたマツぼ

くりの破片に似ています。でもマツぼくりよりはずっと大きい。これはモミの堅果”もみぼくり”の破片です。

もみぼくりは、木の上になっているときに壊れてしまうため、松ぼくりのように丸いままの形ではなく、かけらとなって地面に落ちてきます。

むかし、仙台周辺の丘陵地帯はモミとイヌブナの森がひろがっていたそうです。その後、人間が暮らし雑木林やマツ林になり、戦後にはスギやヒノキの植林が広がりました。青葉の森の園内には、いろいろな林があり、さまざまな時代の人と自然の歴史をう

かがいすることができます。ただモミの木は、もともと自然に生えていた木なので、いろんな林の中にポツポツと生えています。森の中で同じものを見つけたときは、近くにモミの木があるか探してみてください。

続いてこちらは、10月の散策路になんとビックリ!大きなイチゴがなっていました。これはなんでしょう。

イチゴの下のほうに赤いつぶつぶが見えます。これがヒントになりました。これは、マムシグサの種が野鳥が何かについばまれてとられた後の姿です。

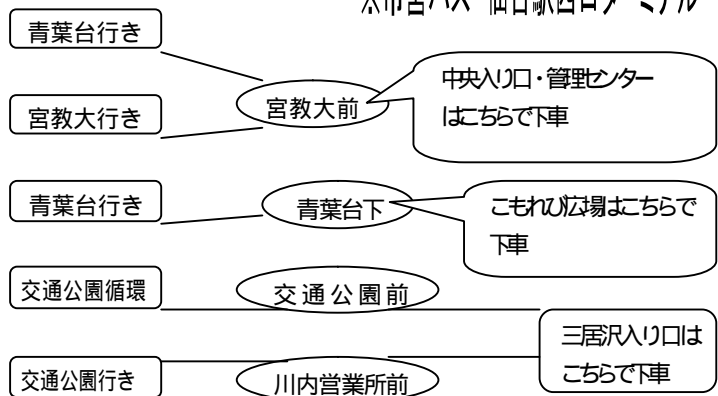


大きなイチゴがなったよ

マムシグサは、園内の各所に生える多年草で、5月中旬~下旬に花を咲かせます。その姿はコブラのようですが、名前の由来は、茎の模様がマムシみたいだからだそうです。マムシっばいかどうか、みなさんもよく観察してみてください。

青葉の森緑地への交通の便

※市営バス 仙台駅西口ターミナル



休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月28日~1月4日)

開館時間：9:00~16:30

発行：(財)仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022 263 2101 Fax:022 263 2102

http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_aoba.html (詳しいイベントの情報がご覧になれます)